

本日の例会（第2269回）

平成28年11月15日(火)

予 定 行 事



☆皆出席表彰

小山 登 会員（11年） 弓田 浩司 会員（6年）

☆卓 話 テーマ「会員増強等プロジェクト委員会について」

卓話者：三宅 有 会員

略 歴：入会年月日：2002年9月15日 生年月日：1961年11月22日

職 業：三宅 有 税理士事務所 所長

職 業 分 類：税理士

ロータリーでの活動歴

2002～'04年度	親睦活動委員	2004～'06年度	副幹事
2006～'07年度	第38代 幹事	2008～'09年度	親睦活動委員長
2009～'11年度	会計	2011～'12年度	会報広報委員長
2012～'13年度	親睦活動副委員長	2013～'14年度	会員増強・選考委員長
2014～'15年度	親睦活動委員長、副会計		
2015～'16年度	会計、会員増強・選考副委員長		
2016～'17年度	会計、会報広報委員		

趣 味：ジョギング

国際ロータリー第2660地区 松本ガバナー講演より

(第2266回のつづき)

【2016-17年度 第2660地区具体的目標】

2016-17年度の第2660地区における具体的目標を次の5項目と定めました。

1. “The Ideal of service” の基本理念の周知と実践
2. ガバナー月信のペーパーレス化によるITの促進
3. ロータリー財団100周年、ポリオ撲滅
4. 戦略計画の推進
5. IM再編成



1. “The Ideal of service” の基本理念の周知と実践

この基本理念を第2660地区会員全員に周知し、その精神に基づいた地区活動・クラブ活動を推奨いたします。この実践的意味はロータリアンの活動が真に社会に役立つものであり、活動及び成果が継続性を有し、相互的に享受し合えるものである。ということでもあります。

(裏面につづく)

次回例会のお知らせ [第2270回・平成28年11月29日(火)]

★卓話予定

・テーマ：「自己紹介 (PART IV)」

・卓話者：増田 久弥 会員

★お食事はミニ会席料理です。

★例会場 4F 真珠の間

★次週 11月22日(火)の例会は休会です。

前回例会(第2268回・11月8日(火))の報告

- ・来客紹介 1名  
(2660地区内 1名・地区外 0名・ゲスト 0名)
- ・出席報告

	10月18日	10月25日	11月1日	11月8日
会員総数	46名	46名	46名	46名
出席免除会員数	14名	14名	14名	14名
欠席会員数 (内、出席免除会員数)	12名 (6名)	9名 (4名)	17名 (5名)	16名 (6名)
出席率	85.00%	88.64%	70.73%	75.00%
修正出席率 (メーキャップ数)	95.00% (4名)	87.50% (4名)	_____	_____

- ・ラッキーくじ  
賞品名 『たねや 銘菓つめあわせ』  
賞品提供者 富島 俊治 会員  
当選者 柴崎 秀樹 会員  
井上 芳郎 会員  
参加者数 16名
- ・卓話  
テーマ「憲法や労働法など」  
卓話者：最上 次郎 会員
- ・その他  
「会員増強プロジェクト委員会」  
13：45分より 事務局にて

会員名 ニコニコ事由

- 竹井三千彦 =誕生日
- 最上 次郎 =ラッキーカード当選
- 高士 誠司 =ラッキーカード当選
- 平林 武昭 =ガバナーをお迎えして。
- 古市 仁 =キリの上海から無事帰国しました。
- 小山 登 =母校(吹田市立山田中学校)の創立70周年記念祝賀会で同窓会会長を引退しました。やれやれです。
- 近藤 治郎 =ボールがとばなくなりました。
- 高士 誠司 =来週欠席致します。すみません!
- 尾下 千明 =S A Aに声をかけられて。
- 弓田 浩司 =S A Aに声をかけられて。
- 三宅 有 =S A Aに声をかけられて。
- 瀬田川昭俊 =来週、出張にて例会欠席させていただきます。ご関係各位にご迷惑をおかけし、恐縮です。
- 勝亦 良彰 =寒くなりました。竹井会員の名前で風邪の抵抗力をつけましょう。
- 竹井三千彦 =12月、忠臣蔵の季節が近づきました。そこで一句、『殿中(電通)で家老(過労)が自殺と聞き違い』
- 最上 次郎 =前回卓話は、二日酔いで失礼致しました。本日は、しっかり努めますので、どうか最後までお付き合い下さい。
- " =卓話当番。

(表面のつづき)

2. ガバナー月信のペーパーレス化によるITの促進

当方年度より、紙媒体によるガバナー月信を停止し、第2660地区のホームページに掲載し、また、メール配信といたしました。この移行には三つの利点があります。第一にIT化の促進、第二に地区活動費の充実です。第三に最大の特徴として、今まではクラブ毎に一定数購入し、閲覧や配布をしておりましたが、本年度からはネット環境がある全ての皆様のご都合の良い時に随時ご覧頂けるということが挙げられます。

3. ロータリー財団100周年のお祝い、ポリオ撲滅

今年度はロータリー財団創立100周年の記念すべき年であり、RIは我々へ「100周年のお祝い」を呼び掛けています。お祝いとは所謂お祭りではなく、財団が過去、RIと共に世界で成し遂げた功績を改めて振り返り、財団についての理解・参加・寄付を推進すること。とのこと。よって、補助金を使った事業の立案や例会で財団関係の卓話をして頂くなど、ご検討頂きたく思います。また、RI会長は様々な奉仕活動の中で、特に重要であるのがポリオ撲滅であると評されています。国際協議会でRI会長によるポリオについての5分程度の講演映像がありますので、ご覧ください。

人類の悲願であるポリオ撲滅が達成されれば、人類史上撲滅された病としては天然痘に続き、2番目となります。今、善いことをすれば、後世により良い世界を遺すことができます。皆様のご理解をお願いします。

4. ロータリー戦略計画の推進

今年度も引続き、戦略計画を強く推し進めます。戦略計画の三本柱は、1) クラブの活性化とサポート 2) 人道的奉仕の重点化と増加 3) 公共イメージと認知度の向上 であります。戦略計画は「親睦」、「高潔性」、「多様性」、「奉仕」、「リーダーシップ」の5つの観点を軸としています。先程の3本柱にはそれぞれゾーンごとに担当制であり、本年度、当地区からは3人の方が選抜されました。まず、横山 P Gはロータリー公共イメージコーディネーターとして公共イメージと認知度の向上を地区、クラブに浸透する役割を担われます。次に、高島 P Gはロータリーコーディネーター補佐として、「クラブの活性化とサポート」を、溝畑学友委員長はロータリー財団地域コーディネーター補佐として、第2項目の「人道的奉仕の重点化と増加」につき、活動頂きます。RIは戦略計画の推進を奨励事項としております。当地区も更なる推進を目指します。

(つづく)